



秋高東京同窓会会報

秋田高校東京同窓会
09年5月初夏号
愛称題字募集中

総会へ参加してけれ

秋田高校東京同窓会の定期総会を左記により開催いたしますのでご案内申し上げます。
恒例のゲストスピーカーはNHK天気予報でお馴染みの高田斉氏（S三八卒）です。

演題は「気象予報士から見たテレビの裏側」です。

毎日、何気なくみている天気予報ですが、あたって当たり前、外れるとヤイヤの罵倒、それなりの目に見えない苦労があるといわれています。

高田さんは一九八〇年代初頭からNHKに出演、この道の草分け的存在でテレビの裏側を隅から隅までご存知のはず、是非面白いお話をお願いします。

また今回も各界様々な分野でご活躍の同窓生が出席されます。先輩、後輩と交流を深める絶好の機会ですので是非ご参加下さい。一人で出ても必ず仲間はいます。

出席票ハガキを同封しておりますので五月二〇日（水）必着でご返信下さい。

なお、会員の一言欄に貴方の近況をお書き下さい。
何点かを次回の会報で紹介させて頂きます。会報の中での同窓生との出会いもあります。それでは当日に会場でお会いできることを楽しみにしております。

敬具



NHK 気象予報士
高田斉氏が語る

日時：平成21年5月27日（水）
受付 18:00 ~ 開会 18:30 ~
場所：ハイアットリージェンシー東京
（前センチュリーハイアット）
東京都新宿区西新宿 2-7-2
TEL 03-3349-0111
会費：7,000円（学生 半額）
年会費：3,000円
主催：秋田高校東京同窓会
会長 橋本 五郎
事務局
東京都港区六本木 3-1-26 柳ビル
鎌田会計事務所
TEL 03-5545-7775
FAX 03-5545-0087

同窓会ホームページ

<http://www.shuko-ob.net/>

5月27日(水)
新宿ハイアット

橋本五郎の AKITA 元気トーク



秋高東京同窓会会長
橋本 五郎

地方の崩壊をどう食い止めるか

今、私たちは二つの大きな危機に見舞われている。世界的な「金融危機」と「地方の崩壊」である。仕事の都合で地方には週に二度三度と行く機会があるが、寂れようは尋常ではない。

「平成の大合併」は正しかったか。県庁所在地の面積ばかり広くなって、同じ県内の過密過疎に拍車がかかったのではないか。厳しく検証する必要がある。危機に直面している今こそ、私たちにどうしてどんな町が望ましいのか、日本らしい地方の姿とはどんなものか、議論を深めたいものである。



秋田県の花：ふきのとう

同期会 だより

昭和27年卒

27会

喜寿を迎えることになる秋高昭和27年卒業生は、終戦が小学校6年時であり、旧制秋田中学の最終入学生です。

中学・高校の六年間を殆ど同じ顔ぶれで過ごした故か、同期の連帯意識は強いように思われます。

平成六年には、卒業四〇年で還暦にもあたることから、同期生の発案で「最後の秋中生の泣き笑い」と題する五〇〇頁に及ぶ記念誌を作り上げたこともありました。

その二七年卒生は、毎年一回、秋



田と東京でそれぞれ同期会を開催しており、昨年の秋田二七回は三〇名、東京二七会（会員約八〇名）は一七名の出席でした。

東京二七会は、毎年、七月の第二金曜日、午後六時から、銀座三笠会館で同期会を開催することが定められており、今年も七月一日（金）午後六時からと決っております。

その他に、吉祥寺近くに居を構える有志が、「武蔵野会」を作り、年三回集って、お互いの元気を確認し合っております。

その上、二七年卒では、年一回、主として同期生の消息、近況を伝える会報（秋高二七年会報）が継続して発行されています。

その編集責任者として、熱心に会報作成に努力してくれているのは、かつて秋田魁新聞の記者であった同期の信田総二君です。

その会報のおかげで、同期の間は残念ながら誰が亡くなったとか、反対に、誰が今、どういうことをして人生を楽しんでいるか等の個人情報に接することが出来ます。

それ故に、送られてくる会報に目を通すことも皆が楽しみにしております。

従って、二七期全員は、この信田君の継続している努力に対して心から感謝の気持ちを抱いている次第です。

秋田二七会では、現在も有志が麻雀大会、ゴルフコンペ等を継続して開催していますが、東京二七会のゴルフコンペは中断しています。以前は、同期の一人が支配人をしていた群馬にあるゴルフ場でコンペを催し、ベスグロ、ドラコン、キャピン等を競ったものでしたが、その支配人が亡くなってしまったことから中断となっております。

それでも気の合った仲間が集まってゴルフを楽しんではいますが、それぞれトシと共に「飛ばない、寄らない、入らない」のないないづくしのゴルフに陥り、かつての勢いはなくなっているように思われます。

東京二七会の出席される皆さんは、お互いに元気な仲間の姿を見、思いのスピーチを聞きながら元気をもらっているように見受けられます。

ビジネスを語る者、家族愛を語る者、健康の秘訣を語る者などもあり、その語りのなからそれなりにプラス志向の気持ちにさせてもらえるような気もします。

そのような気持ちになれることも同期会の楽しさとなり、理由にもなるのかな、と思ったりもして、東京二七会の幹事は、毎年八〇余名に「六時、全員銀座三笠会館に集合！」と声をかけ続けているところですし、今後も続けようと思っております。

（高橋恒雄）

昭和30年卒

30会

秋田駅前の木造校舎を昭和三〇年に卒業して首都圏に住む我々の会は、中部関西人も何人かはいるが、会員名簿上は約一三〇人で、松沢研二君が会長として皆を纏めて頑張っております。

これまでは毎年総会を開いて約三十五人程度集まっていた。我々の会は結構酒の好きなき者が多く、総会の外に佐藤正彦君が常幹事で、毎年代々木八幡駅前で鴨なべの新年会（又は忘年会）を開くようになり、大抵三十人強の同じメンバーが集まるので昨年こちらが総会に代わった。正式な総会は必要に応じて開くことにした。

その他有志では、囲碁の好きな面々が毎月第一月曜の午後から、東京駅八重州の「いずみ囲碁サロン」で、約一〇〜十五人が集まって二〜三盤腕を競い、その後にお酒を楽しんで帰る。皆有段クラスで強いが、特に囲碁観戦記者でプロ九段と二子で打つ相場一安君だけは別格で、彼に負けても持ち点が減らない事になっている。時々京都から学生時キャプテンの田口貞二君も参加する。相沢達君が季節毎にアレンジしてくれる六本木クラブでの碁会は、夜の懐石

S40年卒

橋本五郎

読売新聞特別編集委員
日テレ「ズーム・イン」
(月)(火)コメンテーター

S39年卒

二木 猛

(株)サーマル
省エネルギーと環境

www.e-thermal.co.jp

S39年卒

岩川 作丞圖

岩川税理士事務所

TEL 03-3994-4888

S32年卒

小柳 輝芳

小柳歯科クリニック

TEL 03-3394-1133



昭和 36 年卒
36 会

料理が人気で、夜の部は人数が倍になる。

亦、年三〜四回のゴルフコンペも結構人気で大体は四組で廻る。新ペリア方式なのでシングルプレイヤーの高橋捷郎君が何時も勝つとは限らない。優勝は年一回と決めてはいるが、常連の池田瑛子君がいるので女性の参加者もあり、前々回は〇夫人が優勝した。こちらも時々仙台や北海道からの参加者もいて楽しい。

古希を過ぎて益々元気に人生を楽しみ三〇会であるが、時々他界の報を聞くこともありその時は特にこたえる。

(横山樹静)

36年卒の東京における集まりは「東京秋高36会」と称し、毎年盛大な会合が行われています。第1回は昭和61年、卒業後25周年、4半世紀を経過したのを機会に、大集合しようということになり、大々的に名簿を整理した上で、にぎやかに初会合を行いました。この時収集した名簿が今でもベースになっています。以来公式な会合を年一回開催、今年で19回になりました。毎回参加者は40人から50人に達します。

36会の最大の特徴は、例会を常に3月6日に固定していることです。当然曜日は毎年変わりますが、日には36会にちなんで3月6日です。で、皆さん開催日を決して忘れることもなく、ほかの予定を入れたりすることもなく、実に分かりやすい設定になっていることです。

最近までは、学校の先生をしている連中からは、入学試験や卒業式やらで、どうしても出席できない、何とかしろとのお叱りを受けていたものですが、今はその問題もなくなり、例会以外にも十数人程度の参加によるゴルフコンペも定例的に行われています。

これまで最大規模の行事は、同期

の佐々木毅君が東大総長に就任した際に、各方面に呼びかけて記念祝賀会を主催し、二〇〇名以上の参加者を得て盛大に行われた時で、今でも鮮明に記憶がよみがえります。60半ばを越え、あまり無理もできない年齢に達し、仕事をリタイアした人も多く、会への出席は増える傾向にありますが、健康に気を付けながら、末永く続けていきたいと思っています。

(村山公士)

昭和 39 年卒
39 会

秋高39会関東支部会は、発足して20年が経った。39会の名称は、私たちが昭和39年3月の卒業だったことと「ありがと〜仲間たち」という意味でのサンキューをかけての命名だったと記憶している。

総会は1年に1度。例年10月から11月の間に開いているが、30名から50名近くの会員が集う。普段は都内での宴会だが、節目を迎えた10年目からは5年毎に宿泊を伴う総会にしている。10年目と、15年目は箱根の小涌園や仙郷楼に泊まっただけだったが、昨年は20年目の節目を迎え『スバリゾート、ハワイアンズ』で開催された。相集った仲間がゆっくりと飲み、食べ、温泉につかり、

ショーを楽しみ、カラオケで盛り上がった。

1日目の午前中には有志でのゴルフも行われ、2日目には近くのいわき市の国宝の史跡見学、美空ひばりの唄で知られた塩屋岬、さらに小名浜港の魚市場を巡ってから豪華昼食と、盛り沢山の幸せを味わって帰途についた。

他に幹事会(幹事は、本人の希望さえあれば、誰でも幹事になれる)で、人数が多い時には20人にもなるし、時によって様々)が年に数回あり、総会の相談会、準備会、反省会と称して楽しく飲み食べ、時に歌っている。

関東支部会の発足に当たっては、岩川さんを初め、元H組やC組の有志である中村さん、倉泉さん、柳田



総務、人事、派遣、S44年卒
請負のアルゴネット
尾形 均
ラグビー部 OB
(株)アルゴネット代表取締役
argo-ogata@sunny.ocn.ne.jp

吉村 和就 S42年卒
グローバルウォータ・ジャパン代表
世界の水問題解決は
グローバル
ウォータ・ジャパンへ
<http://gwaterjapan.com/>

S42年卒
格安で
ホームページを
制作します。
宮腰 亮汨
株式会社飛龍代表取締役
www.flying-dragonz.com

鎌田 進 S42年卒
カ)プロジェクト21
鎌田会計事務所
税務署という漢字を見たら
鎌田へご一報を
sukamata@nifty.com

さん、二木さんたちが知っている友人に声をかけて少しずつ仲間を確認して今に至っているわけで、礎を作って頂き感謝に堪えない。

支部長は、初代の斉藤さんから、岩川さん、葛西さん、二木さん、原田さんと引き継がれ、目下私がさせて頂いているが、裏方として支えてくださっている奈津子さん、田口康さん、田口長さん、佐々木さん、阿部さん、倉泉さんの力は大変大きい。みんなの力を結集してこれからも楽しい39会を続けたい。

(安田恭子)

昭和42年卒 42年卒 同期会

秋高東京同窓生の皆様、お元気にして居りますか？私は、昭和42年卒の高橋と申します。

昨年、同期生の還暦祝いを、2月秋田(一〇名余参加)と10月東京(40名参加)で行ないました。

「S42卒同期会」は、ここ4年前から活発化しその05年は、吉村和就君(A)が自らの経験を踏まえ「国連勤務で見た世界の裏事情」と題して講演を行い、通る低音の声とその軽妙な語り口(当時放送部の全国大会で優勝)で参加者を魅了し、やんやの喝采を受けました。

本人は現在、「水」の安全に関する



る第一人者として国際的にも活躍しており、NHKのクローズアップ現代等のTV出演や多くのマスコミに取上げられ、又、今年の1月に産学官による「水の安全保障戦略機構」を立上げ、今光り輝いている一人です。そして翌年は、小職の「中国ビジネスのリスクマネジメント」、07年、08年は、当時の恩師をお迎えし、40年以上ぶりに高橋貞子先生から「エドワード・サピアに関する小ノート」、武田武志先生は「時の流れ」第5

巻編纂を終えて(秋田県議会史)のお題で授業(講演)を受けました。ここで当時授業中寝ていた人は40年以上経っても同じという貴重な法則を見い出しました。この様な一度の東京同期会の企画は一朝一夕では生まれません。既に過去4年前から続く月1度の定期会合がその源泉です。毎月お茶ノ水駅近くのビルの食堂に集まり2千円程度の会費で飲み食いし乍、何とはなしに話題がでて次第に話が白昼化し、そうなたら誰も人の話は聞いておりません。其々が周りに迷惑なほど大声で喋り捲ります。正にその代表格が東京同期会の世話人の大野省治君(G)である。この会の常連(準常連)は、他に川口公作君(J)、宮腰良一君(A)、畑山康幸君(B)、佐藤貞直君(B)、藤田徹君(G)、伊藤広文君(H)、渋谷潔君(B)、武内暁君(B)、長谷川猛君(D)等々の諸氏である。皆さんそれぞれ環境、エネルギー、水、IT、その他の最先端のビジネスで精力的に活躍されております(おりました)。果たして今年のイベントは？つい最近、新橋にあるオシャレなジャズ&ワインの店を貸切り、遅い「さりたんぼ鍋パーティー」を開催しました。異業種交流ですが、我が同期生が中心のパーティーです。60歳を過ぎたシニア世代の人が多く、起業されたりNPOを立上げられたりと様々ですがこうした楽しく夢を持って頑張ってお

けやき会だより

秋田市内の11の高校と新屋郷土会それに事務局としての秋田市東京事務所で構成される「けやき会」は今年で14年目。今年の運営委員会には伊藤清信、武内暁が担当します。本年は秋田市制120周年式典が7月12日あります。4月23日の第1回の運営委員会では次の活動計画が決まりました。

- 5月16日の高尾山ハイキング
- 7月12～13日 市制120周年記念式典参加
- 9月1日ゴルフコンペ
- 11月20日 在京秋田市政情報交換会

詳しくは事務局までお問い合わせください。
TEL 03 (3234) 6871 FAX 03 (3234) 6873
毎回楽しくワイワイがやがや“市内リーグ戦”をやっております。是非行事へご参加を (武内)



れる方同士や同じテーマを持つ方が交流しあいネットワーク化して拡げていく事や、又その機会を作っていく事も同期会の活動として大事な事だと痛感致しました。

(高橋和正)

心だつてマッサージ
「音あそび教室」

S56年卒

佐々木(泉谷)菜穂子
株式会社音あそび教室代表取締役

<http://www.otoasobi-school.com/>

一人で
考え込まないで!

S44年卒

高橋 裕次郎

弁護士・高橋裕次郎法律事務所

y-takahashi-law@f04.itscom.net

平成10年卒
10年卒

平成10年の卒業生は多くが今年30歳を迎えるアラサー世代である。昨年1月2日には恒例の卒業10周年記念同期会が開かれ、約一六〇名の卒業生と学年部の先生方が集まった。話題は尽きることがない。高校卒業後の10年間とは、大学・大学院での学びや就職、結婚などのあらゆる節目において多くの迷いと決断に満ちた時間である。それぞれの思い出話や近況報告で盛り上がり、会場は輝く笑顔で溢れていた。

地元に残っていたのは医師、教員、公務員、銀行勤務などが多かった。また秋田での就職を希望したが大卒では求人がなく、高卒として勤務しているケースもあった。「秋田に帰りたいが仕事がない」という同期は少なくない。一方で東京で働く同期も多数いたわけだが、なかでも職場が「品川」という人の多さに個人的には驚いてしまった。

また起業していたのは若干名だったが、まだ30代にも満たないことを考えるとともつとであろう。孔子はかつて「吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず……」と言ったが、私の師である経済学者の玄田有史氏は、日本経済に

おいては「立つ（起業する）」べきは「三十」ではなく「四十」が最高であることを近年のデータから証明した。
次の10年間も何が来るのか、何が起きるかが楽しみで仕方がない。一

つひとつ積み上げていくもののなかに、たとえ僅かであっても誰かの力になれることがあったとしたらとても嬉しく思う。
(金谷さおり)



秋田県立秋田高等学校 平成10年卒業 同期会 於 秋田ビューホテル 2008年1月2日

秋高連より

秋高連(正式名称・在京秋田県高等学校同窓会連合会)は、秋田県内各高校の在京同窓会支部の連合会で、各高校同窓会会員相互の親睦と連携を深めることを目的としています。

昭和五十七年秋田高校他二校から二名のOBが発起人會に參加、以降3回の連絡會を経て、昭和六一年第一回總會開催をもって発足しました。(初代会長は、秋高OBの金谷勇さんです。)

主な活動としては、

1. 運営委員會の開催……各校から二名出席、年五回程度開催されます。
2. 全体總會開催……七月に開催、約四〇〇名の會員が集まります。また二年七月二日には西木先輩にご講演をお願いしています。
3. 忘年会・三講演會……二月に開催
4. 秋高東京同窓会主催の「秋田のお酒を楽しむ會」に協賛
5. 皇居見学会……年2回実施(二年四月二四日開催、六〇名參加)
6. 「秋高連絆の植樹」……二〇〇八年八月、秋田市千秋公園内明德館庭園に桜の若木二本を植樹(けやき会と共同で実施)
7. 旅行會……二年六月一九〜三〇日、日光にて開催
8. 在京秋田県人新春交換會に参加(約二〇名)
9. 秋田わか杉国体、秋田県立北欧の森公園で開催の全国植樹祭に参加
10. 各高校同窓会總會に相互出席

などを実施し、會員の皆様のご協力を頂いております。秋田県出身の仲間として、より多くの方々と親睦と連携を深められるよう、同窓の皆様のご参加とご協力をお願いします。東京同窓会ホームページにもリンクしていますので、是非ご利用をお願いします。

(文責・42卒大野)

■大学生

卒年	大学	就職希望業種
平成 17	茨城大学	広告 人材 通信 運輸
平成 17	立教大学	公務員 航空会社
平成 17	首都大学東京	金融 商社 メーカー
平成 18	明治大学	コンサルティング
平成 18	千葉大学	製薬会社 (MR)
平成 18	明治大学	金融 アパレル ブランド
平成 18	早稲田大学	マスコミ 出版
平成 18	東京農工大	農村に携われる仕事
平成 18	早稲田大学	メーカー
平成 18	東京学芸大学	マスコミ
平成 18	埼玉大学	マスコミ 放送
平成 18	中央大学	メーカー
平成 18	横浜国立大学	未定
平成 18	筑波大学	百貨店 旅行業界
平成 18	お茶の水女子大学	音楽系 教職
平成 18	日本大学	商社
平成 18	中央大学	建築 不動産
平成 18	法政大学	金融
平成 18	青山学院大学	公務員
平成 18	慶応義塾大学	商品開発 企画 広報
平成 18		公認会計士 金融
平成 18	東京理科大学	石油製品販売
平成 19	北里大学	公務員 薬剤師
平成 19	津田塾大学	未定 英語に関係する仕事
平成 19		食品 公務員
平成 19	東京農工大	知財関係
	明治大学	

■社会人一言スピーチ

卒年	氏名	勤務先	業界
昭和 36	村山公士	東放学園	教育
昭和 39	二木 猛	(株) サーマル	環境機材製造 販売
昭和 39	岩川作丕圖	岩川税理士事務所	税務
昭和 40	橋本五郎	読売新聞	マスコミ
昭和 41	田口佳孝	EPR 研究推進 フォーラム	IT 組織研究
昭和 42	吉村和就	グローバル ウォーター ジャパン	国際「水」コン サルタント
昭和 42	武内 暁	(有) 企画社 プランニング ワン	印刷・出版・企 画
昭和 47	三沢栄一郎	シーマ電子(株)	電子部品商社
昭和 47	鎌田進	鎌田会計事務所	税務
昭和 48	大橋朗	住友生命	金融
昭和 51	鈴木香	ロシュフォー マジャパン	製薬 医学博士
昭和 54	小野良樹	北都銀行東京 支店	金融
昭和 56	佐々木菜穂子	(株) 音あそび 教室	教育
昭和 58	加藤和泉	香港上海銀行 (HSBC)	金融
昭和 58	石坂仁	共同通信社	マスコミ
昭和 58	青山卯女	衆議院事務局	国家公務員
平成 08	柳澤奉享	(株) マネジメ ントサービス センター	人材開発コンサル タント
平成 15	高橋孝明	秋田銀行東京 支店	金融

平成20年10月18日(土)、恒例の第8回「大学生と社会人の交流会」が大学生30余名、社会人20余名出席して「アルカディア市ヶ谷」で開催されました。

「大学生と社会人の交流会」は、就職氷河期と言われた平成13年に「就職懇談会」という名称で出発し、その後名称変更して継続している会ですが、その開催趣旨は私たち東京同窓会が何かしら同窓生である大学生の皆様のお役に立ちたい、また東京同窓会を知っていただき今後参加してほしいという

ところにあります。この会は、郷土を同じくする高校同窓生の各界の先輩と名刺交換するもよし、就職問題等で迷っているので相談するもよし、ということと大学の同窓会とは一味異なるところがあるのと考えています。例えば、近所であったり、同じ小学校・中学校出身であったり、親や知人を知っていたりということがしばしばあります。先輩との懇談も話はずみ、スムーズにいきます。

こうした会が開催されていることを関東地方に求めている大学生に知っていただくことはそれなりに大変ですが、大学生が希望している業界の社会人の皆様に出席していただくことがもつと大変というのが実状です。特に工業系の業界にも希望者があり、関係の社会人

を捜して出席いただくには苦勞をしています。今年も10月位に開催予定です。大学生だけでなく、社会人の皆様にも是非ご参加をお願い致します。今後の課題としては、過去に出席した大学生の名簿管理とアフターフォロー、大学生が希望している業界の社会人の名簿作成と事前依頼をするための事前登録制の立ち上げが挙げられます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

「大学生と社会人の交流会」開催される

午後1時、加藤和泉幹事(昭和58年卒)の司会のもと橋本五郎会長(昭和40年卒)の挨拶、(株)クルート人事部の石綿純さん(昭和63年卒)の講演、その後出席社会人全員のお話と続き、3時に終了、同日同所で3時30分開催の「秋田の酒を楽しむ会」に全員が移動し、懇談がおこなわれました。大学生と社会人との懇談が多いにおこなわれ、大盛況でした。

「大学生と社会人の交流会」は、就職氷河期と言われた平成13年に「就職懇談会」という名称で出発し、その後名称変更して継続している会ですが、その開催趣旨は私たち東京同窓会が何かしら同窓生である大学生の皆様のお役に立ちたい、また東京同窓会を知っていただき今後参加してほしいという

平成20年10月18日(土)、午後三時三〇分から「アルカディア市ヶ谷」で「秋田の酒を楽しむ会」が開催されました。橋本五郎会長(昭和40年卒)の軽妙な挨拶があり、同所で開催されていた「大学生と社会人の交流会」の大学生も参加し、若やいだ雰囲気

のなか秋田県内の酒造会社の酒を九〇余名の出席者が飲み比べをおこないました。秋高連や他県の高校出身者もあり、賑やかな会でした。最後に大学生から二次会の呼びかけがあり、残った酒瓶を手土産に社会人も大学生と一緒に夜更けるまで語り合いました。最後までお付き合いいただいた橋本五郎会長、ご苦勞様でした。

「秋田の酒を楽しむ会」

(岩川作丕圖)

母校の情報

○09・3・1 平成20年度卒業式
卒業生三〇九名

○09・4・7 平成21年度入学式
新入生三二四名

○秋田高校の進学実績

合格者数(現役)

国立大学計一四七人

私立大学計一八〇人

○秋田高校では、現在、運動部17部・文化部18部の他10の同好会が活発に活動しています。昨年の高校総体では、山岳・卓球・陸上部が全国大会出場を果たし、山岳部が8位入賞の成果をあげました。文化部では、将棋・放送・文芸・囲碁部が全国出場を果たしました。(詳細は秋田高校のホームページに記載されております。)

硬式野球部

二〇〇九年春季関東遠征記

3月に行われた硬式野球部の関東遠征のスケジュールに、主将・部長・監督のコメントを頂きました。夏の甲子園出場に向けて同窓会の皆様のご声援をお願いします。

硬式野球部主将

渡部 凌(八郎潟中)

今回の関東遠征では大学生・社会人のレベルの高い野球に接して学んだ事を、自分達に必要

な事に照らし合わせてプレーに繋がっていきたくと思います。

硬式野球部長

小林正人(S59年卒)

関東での遠征合宿は、私たちにとって野球シーズンの始まりをつげる重要な起点であり、また、東京矢留倶楽部の諸先輩にお会いし激励を受ける貴重な機会でもあり

加藤和泉君を偲ぶ

秋田高校東京同窓会副幹事長鎌田進(47年卒)

加藤君と初めて会ったのは、私が秋田高校東京同窓会に出席した時でした。私が同窓会を知ったのは7・8年前のことです。加藤君は既に同窓会には何度も出席して先輩から後輩いろんな方を知っていました。私にも気軽に声をかけてくれてまだ慣れていない私はほっとしたものでした。その後何度もお互いに同窓会に出席しているうちに幹事になり加藤君は若い人たちをまとめる役となり、若い人たちに出席してもらうにはどうしたらいいかを一生懸命考えてくれていました。加藤君の頑張りがあったので平成になってからの卒業生も同窓会に気軽に出席できる雰囲気がありました。

その加藤君が「急性心不全」で21年4月18日午前9時に逝去しました。訃報を最初見た時、加藤君本人ではなく親戚の方かなと思いました。しかし本人でした。非常に驚きました。

私だけではなく皆同じように驚きました。44歳という若さで…。ご家族の無念さはいかばかりだろうと慰める言葉も見つかりません。本人が一番悔しいのかもしれませんが。これからという時に。

お通夜は涙雨の日でしたが、秋田高校58年卒の同期生もたくさん見え加藤君が皆に慕われていたことがよく解りました。

「死」は必ず訪れるものですが順番が狂うと心にはぽっかりと穴が開いたようになります。周りの人に気を使いつつまた気軽に声をかけ和やかな雰囲気にする力を持っていた加藤君を偲びつつ、今は加藤君の分も皆で頑張って盛り立てていこうと思っています。

加藤君安らかに…。合掌。



幹事会終了後。左側は加藤君

ます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

硬式野球部監督

佐藤幸彦(H4年卒)

関東遠征の目的は、県内にいると難しい、社会人チームや大学チームとの合同練習や試合見学と練習試合である。どれも部員にとって冬期間の練習の成果を試すことのできる絶好の機会である。今後、毎日の小さな努力を積み重ね、大目標を達成し、先輩たちの熱い激励に応えられるよう精進していきたい。

月日	曜日	宿舎
3月27日	金	「(財)根っこの家」：埼玉県川越市元町2-8-17 10:00 学校出発(終日移動) 夕方宿舎到着
3月28日	土	鷲宮製作所練習見学・参加(鷲宮製作所G)
3月29日	日	立教大学オープン戦見学・練習参加(立大野球場)
3月30日	月	東京大学オープン戦見学・練習参加(東大野球場)
3月31日	火	11:30 秋田一雪谷、 14:00 秋田一佼成学園(佼成学園G) 夕食(東京矢留会) 後 秋田へ
4月1日	水	朝学校着(6:00頃)

幹事会便り

秋田高校東京同窓会の名簿上の会員は三三〇名にのぼります。(関東近県在住者)

総会案内はこの三三〇名の会員に郵送しておりますが、例年総会への参加者は一〇〇名前後で約4、5%の参加率といえます。この参加者を増やして秋高同窓会ネットワー

クをもっともつと活用できる方法がないものか幹事会で模索しております。そのために昨年度は「現役学生と社会人との交流会」「秋田の酒を楽しむ会」等々の催事を行いました。

ところで幹事は原則各同期会を代表して選ばれるようになっており、現在38名を数えております。

毎奇数月の第一金曜日の18:30に幹事会を開催しその時々テーマについて打ち合わせを行っています。参加するのは同窓生であればなたたでも自由です。是非一度参加してみてください。(場所等の詳細は秋高東京同窓会のホームページに載せています。)

今年も年次毎同期会幹事を大幅に



増強して更に同窓会活動の活性化を行いたいと思っております。幹事への自薦、他薦を広く募集しております。ご連絡下さい。

幹事長 二木猛(S39卒)